

3000人の楽しい町

No.585

町報

こうふ

KOFU

2019
12月

移りゆく季節を見つめて



動画で町報こうふ!

URL: <https://www.youtube.com/user/townkofu>



日野川沿いの銀杏並木 (モデル: 古川美穂さん)

令和元年度 日野町江府町日南町衛生施設組合 職員採用試験



▲汚泥処理再生センター清化園

募集職種

技術職員（汚泥再生処理センター清化園）【1名】

※（採用予定年月日：令和2年4月1日）

日時・会場

日時 令和2年1月26日（日）午前9時
会場 江府町役場

応募期間

令和2年1月15日（水）午後5時まで（必着）

※受験希望者は試験申込書および受験申込用紙に所要事項を記入し、申込期限までに下記事務局へ提出してください。同日までに到着するよう郵送されても差し支えありません。

※申込用紙は令和元年12月16日（月）から、下記事務局が各構成町役場担当課で受領してください。

【受験資格】

住所要件：制限なし

年齢：昭和59年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人

資格要件：なし（※ただし採用後、廃棄物処理施設技術管理士の資格を取得していただく必要があります。）

※地方公務員法第16条に該当する人は受験できません。また、国籍要件があります。

【試験内容】

教養試験、事務適性検査、性格特性検査、作文試験、口述試験

【合格発表】

令和2年2月中旬に合格者に通知するほか、合格者の受験番号を各構成町役場掲示板に掲示するとともに各構成町の公式ホームページに掲載します。

【申込み・問い合わせ】 日野町江府町日南町衛生施設組合事務局（江府町役場内）

〒689-4401 鳥取県日野郡江府町大字江尾475番地 電話：0859-75-2521

12月号の目次

（ページ）

3 環境を守る

「水の集まる中心」を由来に持つ、奥大山江府町。長い歴史と共に形成された豊かな自然環境は、町が誇る貴重な財産であり宝である。町内に複数の河川を有する町として、持続可能な未来を実現するために、私たちが日頃から心がけていかなければならないことについて注目していきますー

8 まちの話題

令和元年度江府町戦没者並びに殉職者慰霊祭 / 江府町防火パレード など

12 江府町役場新庁舎建設工事進捗状況について / 米子自動車道チェーン導入について

13 白石町長コラム「不易流行」 / 「3000人の楽しい町」プロジェクトチーム活動報告

14 令和元年度江府中学校日輪祭 / 令和元年度江府小学校学習発表会

15 江府町文化祭2019 / 奥大山古道ウォーク2019

16 第45回江府町人権・同和教育研究集会兼江府中PTA人権講演会

17 公民館講座のご紹介 / エリカ先生のKOFU DE ACADEMIA

18 令和元年度中学生議会

20 地域おこし協力隊通信 / 日野高レポート

21 農業委員会だより

22 まちのお知らせ

教育委員会表彰に推薦してください！ / 除雪作業にご理解とご協力を！ / 気をつけよう消費者トラブル
年末年始の閉庁・休館・休業について / 人の動き / 行事カレンダー など

27 行事カレンダー

28 日野川沿い銀杏並木ライトアップ・御机の茅葺小屋ライトアップ / 今月のフェイス / COVER- 今月の表紙

— 特集 —

環境を守る

国際社会の枠組みで人やモノ、資本が移動するグローバル経済のなか、環境問題は連鎖的に発生し、それが深刻な影響をおよぼす時代になってきている。

「江府町」には長い年月をかけて形成された豊かな自然環境があり、それを守っていくために、人々は自然と共に生きている—

持続可能な未来のために、私たちは何をしていかなければならないのか。「SDGs」、「ごみ」、「水」について触れていきます。



▲夜振橋から望む日野川と大山南壁

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



江府町は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

豊かで活力のある未来を創る

■持続可能な開発目標（SDGs）

2015年9月25日の総会決議により、国連加盟国は持続可能な開発目標（SDGs）を全会一致で採択しました。この決議のねらいは、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、不平等と闘い、気候変動に対処しながら、誰一人取り残さないようにするために、2030年までに17の国際目標（その下に、169のターゲット、232の指標が決められている）を達成することにあります。

■日本における「SDGs」

政府は、「SDGsアクションプラン2019」を策定し、3つの柱を中核とする日本の「SDGsモデル」に基づき、「SDGs実施指針」により8つの優先課題に総力を挙げて取り組むことを示しました。優先課題の一つとして「生物多様性、森林、海洋等の環境保全」が挙げられています。その中でも、「マイクロプラスチック（※）を含む海洋プラスチックごみ対策の推進」では、「自治体等による回収処理、発生抑制対策

への支援」などの取り組みを実施することが盛り込まれました。

■江府町における「SDGs」

豊かな自然環境を有する江府町では、地域が一丸となり、これまでに様々な環境保全活動を行ってきました。「SDGs」にむけた取り組みは、今後、町全体で共有しながら推進していかなければ実現できません。そのためにも、現在の町の「ごみ」の状況について、次のページから触れていきます。



▲例年行われる江尾十七夜にむけた、船谷川の清掃活動の様子（2019年8月4日撮影）

※マイクロプラスチック…環境中に存在する微小なプラスチック粒子。有害物質が付着することで、魚などの体内に取り込まれる場合もある。

【出典・引用】「SDGs実施指針日本版」、「SDGsについて」、「SDGsアクションプラン2019」（いずれも外務省）
「ロゴ使用のためのガイドライン（日本語版）」（国連広報センター）



▲一般廃棄物収集委託業者によるごみ収集の様子

☑ 1. まち全体のごみの排出量はどれくらい？

江府町全体のごみの排出量は、過去5年間の平均で年間815.1トン（平成26年～平成30年）。ごみの中で一番排出量が多いのが、「可燃性ごみ・可燃粗大ごみ」で、過去5年間の平均で年間585.9トンです。以下、「資源ごみ」、「不燃ごみ」、「不燃性粗大ごみ」、「有害ごみ」の順です。

☑ 2. 一人あたりのごみの排出量はどれくらい？

江府町における一人あたりのごみの排出量は、過去5年間の平均で年間266.4キログラム。（平成26年～平成30年）。直近の平成30年度は274.2キログラムです。過去5年間で人口が270人減少しているにも関わらず、一人あたりのごみの年間排出量は毎年増加傾向です。

☑ 3. 一人あたりのごみ処理にかかる費用はいくら？

江府町における一人あたりのごみ処理にかかる費用は、過去5年間の平均で年間29,290円。（平成26年～平成30年）。直近の平成30年度は33,059円です。一人あたりのごみの排出量と同じく、過去5年間で人口が減少しているにも関わらず、一人あたりのごみ処理経費は毎年増加傾向です。

☑ 4. ごみ袋やシールをどれくらい買っているのか？

江府町における各種ごみ袋や各種シールの購入額は、過去4年間の平均で年間3,382,862円。（平成27年～平成30年）。一人あたりの購入金額の平均は年間1,117円です。この数値には透明袋の購入費は含まれていないため、実際にはこれ以上の費用がかかっています。

☑ 5. 近年の不法投棄の状況は？

江府町における近年の不法投棄の件数は、平成28年度8件、平成29年度10件、平成30年度8件です。内訳として、生活ごみが一番多く、散乱ごみ、その他ごみが続きます。不法投棄を見つけた場合、捨てた当事者が特定できた場合には本人が処分をし、特定できない場合は地権者に回収や処分を依頼しています。公道付近や河川付近などの公共的な場所の場合、役場で回収を行っています（地理的に回収できない場合もあります）。不法投棄発見後は、不法投棄防止看板を設置し、定期的にパトロールを行っています。不法投棄は違法ですので絶対にやめましょう！

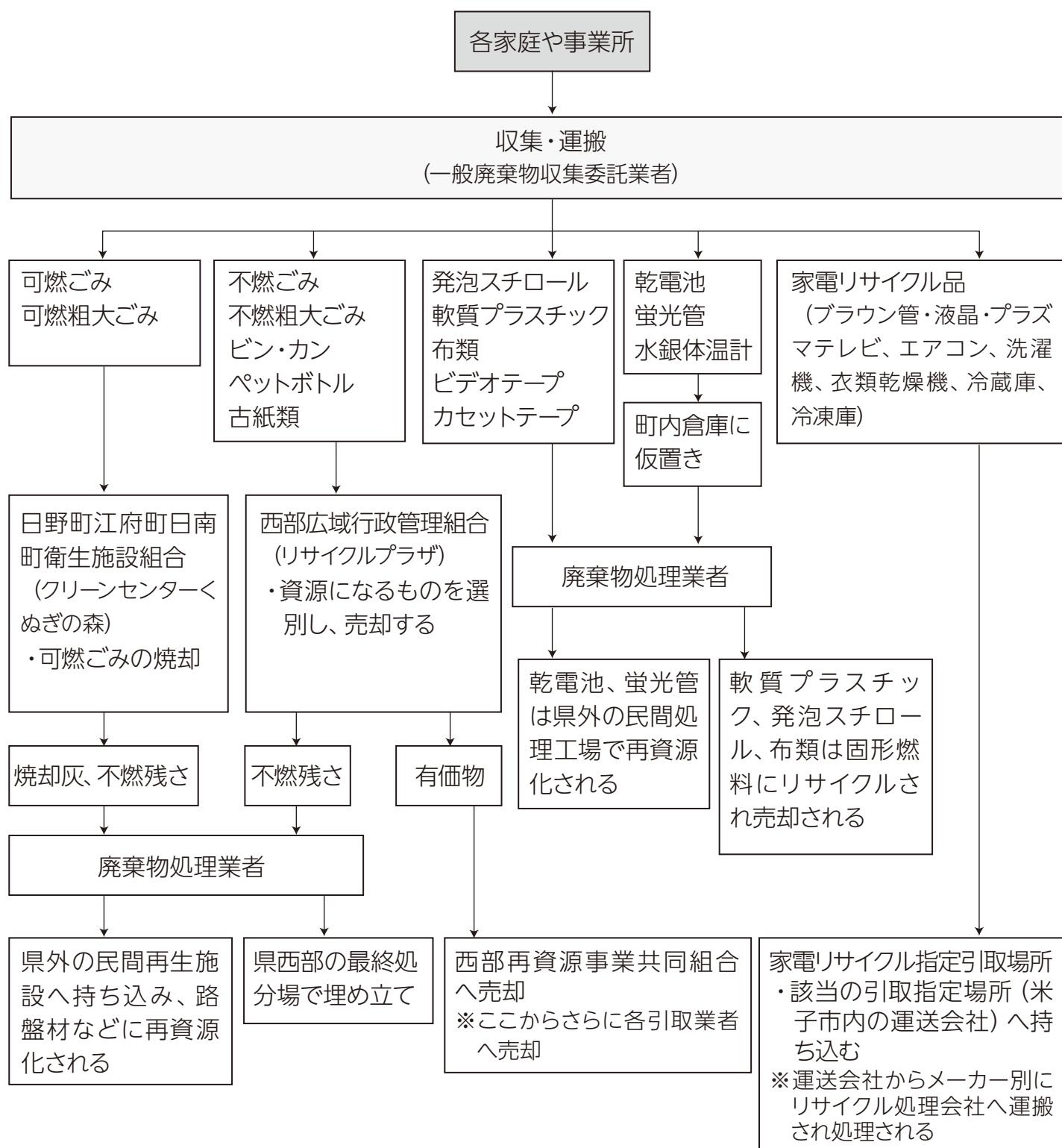


△クリーンセンターくぬぎの森でのごみ処理オペレーション作業

流れをチェック！

ごみが処分されるまで

日々、各家庭や事業所から発生する「ごみ」。ごみの種類によって、分別や処分の方法は異なってきます。分別については「2019年度消費生活問題啓発くらしのカレンダー」でご確認ください。以下では、ごみが処分されるまでの流れについてチェックしていきます。



リサイクルプラザへ直接搬入される方にお知らせ

リサイクルプラザから分別の間違が多いごみについてお知らせします。ハサミで切れる・押したらへこむ程度の硬さのプラスチックは、不燃ごみではありません（軟質プラスチックごみです）。ポンプやキャップ（下記図の白丸囲み）は、本体から外して不燃ごみとして廃棄してください。



資源ごみ、不燃ごみ、不燃粗大ごみ、ペットボトルの直接持込については、下記へお問い合わせください。

【問い合わせ】鳥取県西部広域行政管理組合リサイクルプラザ 電話：0859-68-4071

■水の集まる中心「江府町」

中国分水嶺の北斜面の降水を集めて流れるのが日野川。鳥取県第1位の長流で延長流路は約80キロメートルにおよんでいます。源は日南町にあり、東北東流して日野町を抜け、江府町に達しますが、江尾付近で大きく湾曲して流路を北北西に変えて、約25キロメートルで美保湾に注ぎます。

日野川流路は古くから、平野部と山地部および瀬戸内斜面との主要交通路にあたり、江府町がその湾曲部に位置することは、人々の生活に様々な影響を与えて来ました。そうした主要交通路として、経済・文化の交流を促進する役割をもつようになったところから、江府町の集落は発達したものと考えられています。また、日野川本流および俣野川流域には、古くからの交通路に沿った農業集落と「たたら」を起源にもつ集落があります。

「江府町」の町名の由来は、「水（江）の集まる中心（府）」。

町内のそれぞれの川が一つに集まることに縁をもつのは、この町が水と共に暮らしていることを表しています。

■水を守る責任

海洋汚染につながる、「マイクロプラスチックごみ」。海洋生物の体内に取り込まれることにより、やがて食物連鎖により人の体内にも取り込まれていくようになります。また、マイクロプラスチックごみまでにならなくても、そのままでの「ごみ」を鳥などの生き物が捕食することで死因につながる事案も発生しています。この現象には「河川」が大きく影響しているといわれています。「水の集まる中心」を由来に持つ江府町では、町内に複数の河川を有する町として、海洋汚染などの原因をつくらない責任があります。未来にむけて環境を守るためには、私たち一人ひとりの心がけがより一層求められます。



令和元年度江府町戦没者並びに殉職者慰霊祭

10/31

「令和元年度江府町戦没者並びに殉職者慰霊祭」が10月31日（木）、江府町山村開発センターで神式により執り行われました。戦争で犠牲になった戦没者や殉職者のご遺族と共に、先の大戦で尊い犠牲となった方々の霊を慰め、引き続き平和で豊かな社会となるよう祈りを捧げました。ご遺族をはじめ48名の方々は303柱のみたまの前で黙とうを捧げ、白と黄色の菊の花を手向けました。最後に、遺族を代表し藤原成雄遺族会副会長により謝辞が述べられました。



▲献花の様子

10/31

日本通運株式会社が江府町へ寄付を贈呈



▲目録を渡す日本通運株式会社山陰支店
属 敏宏支店長（写真左）

「日本通運株式会社寄付金贈呈式」が10月31日（木）、江府町役場本庁舎で行われ、日本通運株式会社山陰支店属敏宏支店長から白石町長へ目録が手渡されました。属支店長は「江府町の地域振興のためにご活用いただければと思います。また、求人募集についても引き続き移住や定住等と連携しながらPRしていきたいです」と述べられました。また、白石町長は「江府町のために今年もご寄付をいただきまして大変ありがとうございます。大切に活用させていただきます」と述べました。

「江府町・西ノ島町」姉妹町経済交流事業

11/2・3

江府町と西ノ島町による「姉妹町経済交流事業」が11月2日（土）、3日（祝・日）に行われました。11月2日（土）には、姉妹町経済交流協議会の総会が休暇村奥大山で開催されました。また、鳥取西部農業協同組合江府支所で11月3日（祝・日）に開催された「JAまつり」では、西ノ島町ブースを開設。西ノ島町名物のサザエのつば焼きやカラフルで味わいが濃厚で美味しいヒオウギ貝の貝焼きの実演販売が行われ、会場には焼き立ての貝の香りが広がっていました。



▲実演販売の様子

11/3

奥大山の新米を堪能！ ～奥大山新米祭り～



▲奥大山大飯食い選手権大人の部の様子

「奥大山新米祭り」が11月3日（祝・日）、道の駅奥大山で行われました。コシヒカリやきぬむすめ、星空舞などの新米のおにぎりが販売され、購入した方にはしし汁がサービスで提供されました。また、奥大山大飯食い選手権（子供の部・大人の部）も開催。子供の部には3名が挑戦し、制限時間3分以内に食べた新米おにぎりの数を競いました。大人の部には5名が挑戦。山盛りにしたどんぶり飯を掻き込みながら、制限時間3分後に残ったご飯の重さを計測し競いました。

11/7 食を通して、深まる親子の絆



▲真剣なまなざしで調理する園児

子供の国保育園年長児を対象とした「親子の食育教室」が11月7日（木）、江府町総合健康福祉センターで開催されました。江府町食生活改善推進協議会の会員を中心に町の栄養士や保健師、保育士が食育指導や調理補助にあたりました。同会による紙芝居で食育について学習した後、3つの班に分かれ調理を開始。この日の献立は「ミルクちゃんぽん」、「ブロッコリーとじゃがいものパン粉焼き」、「牛乳ココアプリン」の3品。食育の大切さを知ると共に、親子の絆が深まりました。

江府小学校の長年の取り組みが実を結ぶ

11/9

江府小学校が中国・四国緑化推進協議会から本年度の緑化功労者として表彰されました。この表彰は、緑化活動において顕著な功績のあった個人や団体を表彰するもので、江府小学校がサントリーグループの協力を受けながら長年取り組んで来た、大山のブナの実から苗を育て、再び大山に植える活動が認められました。団体として日野郡内からは初めての受賞。学習発表会の際に、白石町長から、児童代表の清水悠輝さんと森田心晴さん（ともに6年生）に表彰状と記念品が贈呈されました。



▲白石町長から贈呈を受ける児童代表の清水悠輝さん（写真中央）と森田心晴さん（写真右）

11/10 新そば香る、食欲の秋



▲おいしい地元産新そばに舌鼓！

「奥大山新そば祭り」が11月10日（日）、道の駅奥大山で行われました。秋晴れの下、町内外から多くのお客様が道の駅奥大山を訪れ、江府町産の新そばを堪能しました。町内で栽培されたそば粉を用いた麺は香りが強く、刻みねぎやすりおろし大根を添えたぶっかけそばは、すすると奥深い風味が口の中に広がり絶品です。1杯500円のそばを求め、県外からの観光客や家族連れの方も多くいらっしゃいました。まさに食欲の秋にふさわしい盛り上がりを見せた一日でした。

園児が呼びかけ火の用心！

11/12

「江府町防火パレード」が11月12日（火）、江尾地内で開催されました。江府町防災・情報センターで出発式が執り行われ、江府町消防団の団員や江府消防署の署員が見つめる中、子供の国保育園年長児は「わたしたちは絶対に火遊びはしません」と誓いの言葉を述べました。そして、防火標語「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」と呼びかけながら拍子木を打ち鳴らして歩きました。防火パレードの前には、子供の国保育園で避難訓練も実施されました。



▲拍子木を打ち鳴らして歩く園児

江府小学校の児童が「人権の花」を贈呈

11/14

江府小学校の児童6名が、全校児童と地域のボランティアの方々が一緒に育てた「人権の花」を11月14日（木）に江府町役場へ贈呈しました。児童を代表し、6年生の岡田翔愛さんは「みんなで大切に育てました。この花を見て元気になったり、優しい気持ちになったりしてくださると嬉しいです。元気に育ててください」と述べました。また、江府小学校のみんなの思いを書いたメッセージも添えられました。「人権の花」と「メッセージ」は江府町役場本庁舎前でご覧いただけます。



▲「人権の花」を前に記念撮影

11/16

紅葉の俣野でノルディック・ウォーク



▲俣野ふれ愛学舎を出発する参加者のみなさん

「ノルディック・ウォークこうふ」（主催：ノルディック・ウォーク鳥取西部）が11月16日（土）、俣野地内で行われました。当日は70名が参加し、Aコース6km（坂あり）とBコース4kmに分かれて俣野ふれ愛学舎を出発。ウォーキングを終えた参加者のみなさんは、池の内集落の方々が手作りされたカレーライスで昼食をとりました。池の内集落の加藤泰巨さんは「俣野でこういったイベントが開催され、地元として大変嬉しく思います」と述べられました。

第58回江府町卓球大会

11/17

「第58回江府町卓球大会（地域・小学生の部）」が11月17日（日）、江府町運動公園総合体育館にて開催されました。早朝より、多くの選手が集まり熱戦を展開。「シングルスフリーの部」準決勝・決勝戦では、フルセットにまでもつれ手に汗にぎる白熱の試合となりました。結果は以下の通りです。

【結果】（敬称略）※小学生の部は未開催

個人戦 シングルスフリーの部 優勝 藤田憲幸

男子成年の部 優勝 福田 学 女子の部 優勝 福田智恵

ダブルスの部 優勝 森脇 洵・濱崎 歩

団体戦 優勝 おぐらあんこ`S



▲熱戦を展開する選手の様子

11/22

本格的な除雪シーズン前に講習会を実施



▲県担当者から説明を受ける様子

「小型除雪機操作講習会」が11月22日（金）、江府町防災基地で行われました。町の作業員、除雪委託業者、町道の集落除雪を実施している集落の方などを対象に実施され、14名が参加しました。参加者は、県の担当者から機械の操作方法や点検整備について説明を受けたあと、6台の小型除雪機を操作して手順などを確認していきましました。参加者の中には、はじめて小型除雪機を操作する方もおられ、実際の除雪を想定しながら、一つ一つの操作を学んでおられました。

11/23 あなたにとっては不用品でも、わたしにとっては宝物



▲出品された品物をチェック！

「こうふくらしっく♪」（川端一美代表）主催による「第4回わらしべ祭り」が11月23日（祝・土）、江府町防災・情報センターで行われました。「わらしべ祭り」とは、家庭で不要となったが、まだまだ使える品物を持ち寄り、お互いに交換し交流を図ることを目的としたイベント。交換する品物が手元にない場合でも、「握手をする」など物を介さないお礼でも交換することができる仕組みです。日用品のほか、ゴルフセットなどの大物の出品もあり、物々交換をしながら交流の輪が広がりました。

昔ながらのもちつきを通してふれあう

11/24

青少年育成江府町民会議（加持谷典範会長）主催による「ふれあいもちつき大会」が11月24日（日）、江府町防災・情報センターで行われました。保育園児や小学生、保護者など約60名が参加。班に分かれ、杵と臼を使った昔ながらのもちつきを行いました。また、各班は順番が来る間、江府町青年団によるレクリエーションで交流を深めました。ついた餅は更生保護女性会のみなさんにより雑煮ときなこ餅に調理され、参加者全員で食べました。



▲力強くぺったんぺったん♪

11/24 ウイスキー飲み比べ！ブレンダーによるセミナーを開催



▲興水さんによる講演の様子

町民・町内にお勤めの方を対象に、サントリープロダクツ株式会社主催による「ウイスキーセミナー」が11月24日（日）、サントリー天然水奥大山ブナの森工場で開催されました。講師は、ウイスキーの世界的な品評会で活躍された名誉チーフブレンダーの興水精一さん^{こしみず}。総勢76名の参加者は、講演や実際のウイスキーの試飲を通じて、世界でも高評価を得ている日本のウイスキーに対するモノづくりへの厳しさと楽しさ、変化を恐れずにチャレンジ精神を忘れない大切さを教わりました。

伊達^{つかさ}月咲さん（江府小学校4年）が秀作賞を受賞

11/24

「第20回植田正治写真美術館フォトコンテスト表彰式」が11月24日（日）、伯耆町の植田正治写真美術館で執り行われ、高校生以下の部で秀作賞を受賞した伊達^{つかさ}月咲さん（江府小学校4年）に賞状などが贈呈されました。一般の部に552点、高校生以下の部に387点の応募があり、大賞や優秀賞など一般の部15点、高校生以下の部13点の入賞作品が選ばれました。伊達さんは「このコンテストに作品を出すのは初めてでしたが、入選して嬉しかったです」と喜びを語りました。



▲自身の作品を前に表彰状をもつ伊達さん

江府町役場新庁舎建設工事進捗状況について

工事が始まり3か月が経過しました。現在（令和元年12月）は土間コンクリート、配筋打ち、1階の立ち上がりに取りかかります。積雪の影響も考え、進捗状況は予定よりも若干早く、順調に進んでいます。現場付近は複数の工事が重なっており危険ですので、関係者以外は原則立ち入り禁止となっております。町民のみなさまにはご迷惑をおかけしておりますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

【11月2日撮影基礎地中梁コンクリート打設状況】 【11月27日撮影基礎工事完了後～1階床（土間）施工中】



【新庁舎建設に関わる問い合わせ】 江府町役場総務課 電話：0859-75-2211

冬の米子自動車道 チェーンの携行が必要です

湯原IC～江府IC間（上下線）において、集中的な大雪時には『チェーン規制』が実施されることがあります。チェーン規制時はチェーンを装着していないと規制区間内は走行できません。

冬の高速道路では突然の大雪にあうことがありますので、いざという時のために、チェーンの携行をお願いします。また、チェーンの取付方法も事前に確認してください。



- 実施時期 『大雪特別警報や大雪に対する緊急発表が行われるような異例の降雪時』
- 道路情報 アイハイウェイでは交通状況マップの雪道情報で交通状況、道路気象状況（西日本限定）、降雪予測（西日本限定）を発信しています。（右下のQRコードをご参照ください）

【問い合わせ】 ①西日本高速道路(株)中国支社米子高速道路事務所
電話（代）0859-27-2181（平日午前9時～午後5時）

②高速道路の道路交通情報等に関するお問い合わせ（24時間対応）

 **0120-924863**（クルマでおでかけ24時間ハローさん）



「不易流行」

「不易」は、よき伝統を守りながら（不易）
「流行」は、進歩に目を閉ざさないこと（流行）によつて

「理想」を創造する

地元で育てるふるさと教育

11月9日（土）に江府小学校学習発表会を見に行きました。「力を合わせてONE TEAM」輝く姿の江府っ子」をスローガンに、児童たちは学年ごとの発表に一生懸命取り組んでいました。1年生の劇「しんせつせんたい1ネンジャー」は、「今年の3月まで保育園に通っていた子どもたちが、ここまでできるようになるんだ」と感じるくらい、役になりきって演じていました。また、来年中学校に上がる6年生は、最上級生らしい堂々とした演技で、ハプニングがあつたにもかかわらず、最後までやり通していました。すべての学年が素晴らしいのですが、紙面の都合で書ききれないのが残念です。

現在、わが町では小中一貫教育とコミュニティ・スクールについての議論が進んでいます。保護者の皆さんに説明するだけでなく、町内4地区での住民説明会も開催したところです。説明会の中では、



▲江府小学校1年生の劇「しんせつせんたい1ネンジャー」

地区の運動会に中学生の参加を促すため部活動との調整をされた話や、先生は数年間で転勤されても、地域の思いを継続的に反映させることができる等、先進地の事例も話をされ理解が進みました。また、町では課題解決型の学習として、昨年度からアントレプレナーシップ・スクールを導入し、中学生議會を成果の発表の場とする等、地域と子どもたちをつなぐ取り組みも進めています。高校生を対象にふるさと教育を進めるための公設塾の創設や、現状のいもこ塾の改善等も含め、地元の子どもたちは地元でしっかりと育てていく体制を作りたいと思います。

「3000人の楽しい町」プロジェクトチーム（※）活動報告

役場の若手職員が班に分かれ、事務改善について話し合う「小さなカイゼン部活動」もいよいよ大詰めとなりました。11月27日（水）には提案発表のデモンストレーションを行い、それぞれの班の具体的な改善内容を見んなで共有しました。

どの班もバラエティに富んだ発表内容で、中には事務を改善する前と後との差を寸劇で紹介する、というユニークな班もありました。事務改善の目指すものは、もちろん役場内の仕事の効率化ですが、それがひいては公共サービスの向上に住民のみなさんにとってよりよいサービスを提供できるようになることこそが最大の目標です。

これまでずっと続けてきた業務を変えること、もしくはまったくなかった仕組みを新しく取り入れることには、大きな労力が伴います。中には一朝一夕で



▲寸劇で事務改善の効果を説明する様子

変えられないものもあるかもしれません。ですが、一人一人が仕事のプロとして住民のみなさんと向き合うために、変えるべきところは変えていかなければならないように思います。今後は、事務改善の内容を住民のみなさんにご紹介するため発表内容をさらに磨き上げていきます。

これまでの活動はこちら



これまでの活動の様子はQRコードを読み取ることでご覧いただけます。

※「3000人の楽しい町」プロジェクトチームとは・・・有志の20～30歳代の江府町役場職員と、その職員から選出されたリーダーで構成。今年度で4期目を迎え、楽しい町の支障となる様々な課題について課を越えて取り組む。

11/2 令和元年度江府中学校日輪祭

「令和元年度江府中学校日輪祭」が11月2日（土）に開催されました。今年のスローガンは3年生の佐々木百合さんが考案した「楽しもう 今ここにある 僕らのアオハル」。合唱コンクールは3年生が最優秀賞に輝きました。



1_全校合唱 2_英語弁論・暗唱発表 3_人権弁論発表 4_合唱コンクール 5_展示観賞 6_学年発表(3年) 7_学年発表(2年) 8_学年発表(1年)
9_有志発表(POP&COOL) 10_有志発表(江府剣道教室中学生) 11_有志発表(SZSK) 12_吹奏楽部演奏会 ※スペースの都合上一部のみ掲載しています。

11/9 令和元年度江府小学校学習発表会

「令和元年度江府小学校学習発表会」が11月9日（土）に開催されました。今年のスローガンは「力を合わせて ONE TEAM ～輝く姿の江府っ子～」。児童のみなさんは練習した成果を披露しました。
(※スペースの都合上一部のみ掲載しています)



1_合唱「歌よありがとう」 2_しんせつせんたい1ネンジャー(1年) 3_スイミー ～ちいさなこいさかなのはなし～(2年) 4_おばけじょう(3年)
5_if..もしも ～森の発電所～(4年) 6_吉四六さんの人助け(5年) 7_真夜中のサンタクロース ～天使が舞い降りた夜～(6年)

11/2～10 江府町文化祭2019

「江府町文化祭2019」が11月2日(土)～10日(日)に開催されました。3日(祝・日)には鳥取西部農協江府支所で舞台発表が行われ、各出演者は、日頃の練習の成果を披露しました。また、同日には販売出店も江府町防災・情報センターで行われました。期間中、江府町防災・情報センターでは作品展示も行われました。



1_おはなしボランティア/読み語り 2_男女共同参画審議会 3_ピアノレッスン教室 4_ピアノ個人発表 5_樫島会 6_江府小学校(合唱) 7_オカリナ個人発表 8_江府中学校吹奏楽部 9_大正琴江府教室 10_フラダンス教室「ブアニ」 11_全員合唱「パプリカ」(子供の国保育園とアイリス合唱団) 12_MM&P 13_リズムトレイン江府 14_創作ダンス個人発表 15・16・17_作品展示 18_販売出店(江府町青年団) ※スペースの都合上、一部のみ掲載しています。

奥大山古道ウォーク2019 11/10

「奥大山古道ウォーク2019」が11月10日(日)に開催されました。鍵掛峠を出発した参加者のみなさんは、古道を通り御机集落へ。だんご汁が無料提供されたほか、地元産のそばや野菜などが販売され賑わいました。その後、再び古道を進み、笠良原を経て下蚊屋集落へ。伝統の下蚊屋荒神神楽が上演され、会場は大盛況でした。



▲奥大山古道保存協議会佐々木会長によるガイド(写真右)
▼御機の茅葺小屋を鑑賞しながらウォーキング



▲身も心も温まる地元産のそば



▲迫力の八岐大蛇退治は拍手喝采!

第45回江府町人権・同和教育研究集会兼江府中PTA人権講演会



▲作文「最優秀賞」加藤希望さん



▲標語「最優秀賞」水下奈那美さん

第23回「人権・同和問題」啓発 標語・作文受賞者

★作文の部

【最優秀賞】

江府中学校3年 加藤希望さん

【優秀賞】

江府中学校1年 藤原光汰さん

江府中学校2年 山本小太郎さん

★標語の部

【最優秀賞】

江府小学校5年 水下奈那美さん

【優秀賞】

江府小学校1年 千藤弘翔さん

江府小学校2年 宮本結都さん

江府小学校3年 末次碧生さん

江府小学校4年 森田亜睦さん

江府小学校6年 森田心晴さん

「第45回江府町人権・同和教育研究集会兼江府中PTA人権講演会」が11月16日（土）に江府中学校で開催されました。

第1部では、「人権・同和問題」啓発作文及び標語の最優秀賞、優秀賞を受賞した児童、生徒への表彰を行いました。

表彰の後には、受賞者による作品の発表があり、緊張しながらもしっかりと自分の作品を発表し、会場から大きな拍手が送られました。

第2部では、福永宅司さんをお招きし、「わたしの名前はフクサンシン 中学生の応援団長です」時には笑い、時には涙。悩める中学生に生きる勇気を与えてくれる即興劇」と題して、一人芝居が上演されました。

内容は、勉強についていけない中学生が生きていることを辛く感じているときに、フクサンシンという神様があらわれてその中学生の悩みについて解決のヒントを与えていくというものでした。

解決していく中でフクサンシンが伝えたのは、「できない事は誰にでもある。それを他の人と比べて自分はダメだと思うのは間違いである。みんなが同じでなければならい」ということは決してない。その違いが個性である。自分らしく生きることが大切である」とのメッセージでした。

自分らしく生きることの大切さや他の人の個性を認めることの大切さを改めて感じる講演となりました。



講演の様子



感想を述べている様子

参加者の感想

○人と比べることのむなしさや無力さを感じた。この講演に出会えたことに感謝。

○心に響く言葉がたくさんありました。個性を大切にしたい。

○人権についてわかりやすい講演で大人にも子どもにも良かったと思う。

公民館講座のご紹介

今回は自主講座である「まなびや」をご紹介します。「まなびや」は、江府町へ移住してきた方と在郷の方との交流の場として開講され、これまで『地域の安全と安心』『ひの谷の食』を学んできました。今年は『だれだれと語る』（町内で活躍している人が講師）をテーマに、話を聞くだけでなく、聞いた話を中心に参加者同士で語りあっています。

初めての方でも楽しく活動できますので、ご興味のある方はお気軽にご参加ください。詳しくは江府町教育委員会事務局（電話：0859・75・2005）までお問い合わせください。

日時：年6～8回

日曜日午前10時～12時

場所：江府町防災・情報センター ほか

定員：15名

参加費：300円



▲防災セミナーの様子
(2019年9月開講まなびや)

エリカ先生の KOFU DE ACADEMIA 16

The Climb

I feel some activities are best fit for particular seasons. Hiking is one of those.

I finally climbed Daisen. It was a foggy day but the fog

lifted during several occasions to reveal beautiful fall leaves throughout the hike. I must say, comparing Daisen and Fuji, the two mountain paths are completely different. Fuji is long and requires a little climbing, but Daisen is almost all stairs. My legs burned by the top!

I was also able to finally climb Mitokusan. That was probably one of the most exciting mountains I have climbed yet! I love to boulder and that trail is like bouldering and hiking in one! My arms are a little sore, but overall, I feel fulfilled to have climbed these mountains!

I have completed my mountain list in Japan, but if there are any other "must climb" ones out there, I'd love to know!

登山

特定の季節に最適な遊びや体験がいくつかあると思います。ハイキングもその一つです。私はとうとう大山に登ってきました。その日は霧が出ていましたが、歩いていると霧が晴れて美しい紅葉が見える時が何度かありました。大山と富士山を比較すると、2つの山道は完全に異なっていると言わざるを得ません。富士山は長くて少し登る必要がありますが、大山はほとんどが階段でした。頂上に到達するまでに私の足はとても疲れてしまいました。

私はさらに三徳山にも登ってきました。三徳山は私が登った中で最も興奮させる山の1つと言えるでしょう。私はボルダリングが大好きなのですが、その山道はボルダリングとハイキングのようなものです。腕が少し痛いのですが、全体として、これらの山に登ったことに満足しています！

私は日本での登山リストを達成しましたが、もし他に「登らなければいけない」山があるならぜひ知りたいです！

エリカ先生の動画はこちらから



こうふ町 中学生 議会だより

ふるさと学習のまとめとして中学3年生が町政に対して質問や提案を行う「江府町中学生議会」が、11月20日（水）に江府町議会議場で行われました。

江府中学校3年生22名が参加し、今年8月の「アントレプレナーシップ・スクール@江府町」で創り出した江府町活性化のアイデアを、代表生徒6名とともに各グループがスキット（寸劇）を交えて発表しました。



梶原優月議員

問	答
町おこしに江府町のお米を生かしては	面白い企画なので、検討してみたい

質問 江府町にはおいしいお米がたくさんある。地元の人々が厳選したお米とおかずを来てくださった人に食べ比べてもらう「江府のお米セレクトプロジェクト」を提案する。

町外の人と江府町の人交流できると同時に、江府町をアピールできる機会にもなると思う。

町長答弁 奥大山プレミアム特別栽培米研究会が栽培する「コシヒカリ」と「きぬむすめ」は、全国規模の大会で賞をとるなど、江府町を代表するブランド米。しかしながら、賞を取ったお米を意識して食べなくてもいい機会はない。



▲町長答弁をしっかりと受け止める中学生議員

賞をとったもの以外にも江府町にはおいしいお米がたくさんある。おもしろい企画なので検討してみたい。

これを機会に江府町のお米のよさを見直すとともに、情報発信についてもみなさんにも協力して欲しい。

再質問 江府町に賞をとるお米があることを知らなかったのでもっと私たち10代や若い人に知ってもらうために何かしてはどうか。

町長答弁 実は町報「こうふ」にも出ている。なかなか中学生のみなさんは町報まで見えないかもしれないが、できれば町のホームページとかツイ

ッターといった情報に気をつけて見ていただきたい。プログラムでも紹介するので、ぜひご覧いただければ。



西岡七彩議員

問	答
特産物を生かした新メニューについて	製造過程をイベントにする企画はありそう

質問 江府町の特産物のおいしさを知ってもらい興味をもってもらえるよう、江府町のブルーベリーをたづぷり使った巨大パフェ「ブルーベリーベリーBIGマウンテンパフェ」を提案する。

江府町でとれた新鮮なブルーベリーやジャム、ソフトクリームに加えて、アペゼのドーナツが入っていて、おいしいと思ってもらうことでお土産としてブルーベリーやジャム、ドーナツを買ってもらうことを目指したい。

町長答弁 「これは」というものがあれば、それを指して外からくる人もいる。コストパフォーマンスのこともあるので常時店に出すことは難しいかもしれないが、製造過

程をイベントにする企画はありそう。できあがったものをモデルにしたオブジェを道の駅にシンボルとして飾るのもおもしろい。みなさんにも企画に参加してもらい、さらには情報発信にも協力をしていただければ。

再質問 「うまいもん祭り」などのイベントなどで、私たちがプロデュースしたカフェなど、作ったり販売したりする時にはバックアップをしていただけるか。

町長答弁 みなさんがやってみよつという気持ちがあるなら、お手伝いをしたい。



山本紫月議員

問	答
ジビエを楽しめる町にメニューの開発や試食会ができないか相談してみたい	

質問 江府町ではイノシシが獲れるが、江府町にはイノシシを食べられる店がない。

そこで、空き家を改装してイノシシ専門店「イノシシ堂」をオープンし、そこでイノシシカレーとイノシシ料理を提供してはどうか。観光とイノ

シシを自当てに来る人が増える町にしたい。

町長答弁 「イノシシを楽しむ」というのはとてもいい視点。

現在、イノシシの肉を処理する施設を整備中で、肉を処理する名人、食生活改善推進協議会、道の駅などにメニューの開発を相談してみたい。

「イノシシ堂」のオープンには時間がかかるかもしれないが、いろいろなイベントで提供はできるかも。以前にイノシシ肉を使ったラーメンの試食会を行ったこともあり、実現は不可能ではないと思う。



▲イノシシを楽しむ「イノシシ堂」は、観光客と町民のふれあいの場にも

町長答弁 常設ではなくイベント的にやってみるのはおもしろい。

再質問 いろいろな人からメニューを募集し、期間限定でイノシシ堂をオープンして提供するというのはどうか。



ふるさとに目を向け、まちづくりのアイデアを提案



徳岡ゆり 議員

問	答
オリジナルパン作りで交流を	パンの達人に企画を持ちかけてみたい

質問 地元の飲食店に来る人を増やし、さらに人と人とのつながりが増えるよう、地元のお店で自分だけのパンが作れるイベント「パン作りで交流を」を提案する。

パン生地に入れる食材は鳥取県産や江府町産。パンを焼いているちょっとした時間などいろいろな話で親交が深まり、お店自体が憩いの場にお店まで来るのが難しい人にはバスでの送り迎えをすればいいと思うがどうか。

町長答弁 地産地消、パン作りによる交流などとてもおもしろい企画。

エミースカフェにはパンの達人がおられ、日野高校の生徒も指導を受けてパン作りをしている。そういつたつながりをもっと広げていきたい。送迎については、4月から小型の町営バスも運行しており、それも活用して広がりできれば。

提案のあった企画を持ちかけてみたい。



▲別室での再質問相談タイムは、メンターの力も借りながらの短時間勝負

再質問 バスの送迎やイベントを知ってもらうため、ポストなどで広報をするのとしたり、協力してもらえるか。

町長答弁 実際に計画ができれば、こちらでもPRをしたい。



森田稜涼 議員

問	答
空き家整備・田舎体験専門会社を	現在空き家を改修し、お試し住宅を整備中

質問 空き家がきちんと整備されて、移住者が空き家を借りやすく住みやすい未来「E NJOY!!田舎体験大作戦」を提案する。

一軒の空き家を利用して田舎体験の専門会社を作り、町内の空き家を田舎体験できるよつに掃除や修理。田舎ならではの困りごとを丁寧に解決

でき、空き家の持ち主や体験者にも安心して頼ってもらえると思う。

町長答弁 空き家の整備が進み、移住者とのマッチングが進めば理想的。

田舎体験については、現在空き家を改修し、お試し住宅を整備中。地元の人との交流スペースもある。しばらく江府町で生活してもらい、町内の見どころや季節ごとのイベントについて話してもらいたい。実際に体験してもらい、江府町に住んでもらえるよう進めていきたい。

補足説明 江府町における空き家の件数は、現在169戸。入居可能と思われるものが約60数件。

町では平成26年度から空き家情報バンクを開設し、空き家を活用したい、購入したいという方に対して紹介している。空き家は増える現状があるので、どういふふうにご利用していくかというところがアイデアの出どころ。

再質問 田舎体験の企画で「かまどづくり」をやってみるとか、僕らのアイデアも少し混ぜてもらうようなことはできないか。

町長答弁 お試し住宅は敷地もけつこうあるので、外にかまどを作ることは、検討の余地がある。

地はある。作るときにはみんなと一緒に作っていくことも考えていきたい。



加藤希望 議員

問	答
空き家活用で宿兼居酒屋兼飲食店を	まずは地元のお店の魅力を高めることから

質問 江府町は景色がきれいで観光客が訪れるが、飲食する場所がない。観光客と町民が飲食をすることができ、働ける場所をつくることで江府町の経済がよくなる「観光客×町民ふれあい大作戦」を提案する。

江府町の経済の活性化、観光客と町民の交流が深まることを目的にした宿兼居酒屋兼飲食店を空き家を改装してつくり、江府町の物を使った飲食店や居酒屋として開放。二階を宿泊施設とし、従業員は町民を積極的に雇用してはどうか。

町長答弁 町の経済についてよく考えたことも素晴らしい提案。観光客を誘致し雇用が生まれる流れを作りたいと思つていた。

ただ、町内には旅館も飲食店もあり、ランチメニューや

お酒の提供もされている。まずは、そうした地元で頑張つておられるお店の魅力を高めるところに若い方のアイデアを生かしてみてもどうか。たとえば、Airbnbなど、新しい取り組みをされているところもあるので、意見交換をして実現化してほしい。

再質問 旅館と話し合いをさせていたことがあれば、町が協力してくださるか、また、居酒屋とか飲食店を作るときに空き家を使わせてもらえるかどうか、見学させてもらえるかどうかを伺う。

町長答弁 旅館との話し合いはぜひその場を設定したい。空き家の活用は、具体的に進めていけるかどうかは分からないが、とつかりとして話し合いの機会は作りたい。

どの班もまちの課題と真剣に向き合い、「自分たちにできることを具体的に考えていました」「江府町をよりよくするため」と考える活動を通して、また「段と「わがまち」への愛着も深まったのではないだろうか。江府町の次代を担う一員として、今後も様々な形でまちづくりに積極的に参加してくれる姿がイメージされ、江府町の明るい未来が見えるようでした。

江府町の地域おこし協力隊の活動日記 Vol.17

『年末に向けて』

今年の農作業もいよいよ大詰め

11月上旬に大豆の刈り取りを終えて、あとは秋耕など令和元年産作物の片付けなどを行っています。全農TACや農業会議の研修などにも通い、農業経営の勉強にも励んでいる所です。

トラクターを洗車して仕事納めするまでは心身共に落ち着かないのですが、1月に始まる奥大山高原みその仕込みの前に、普段手に付けられなかった事務作業などにも着手していきたい所です。



まつもと よしふみ
法人宮市班 松本 良史

冬の活動に向けて

江府町に住んでいると、冬に向けての作業は一年の中でかなり大きいテーマでしょう。特に雪が多い笠原では家を守るための雪囲いの設置や、雪で潰れないようにビニールハウスからビニールを外したり、徹底的に外回りの片づけをしないといけないです。準備万端の状態です。雪を迎える事ができたら、心が落ち着きます。

雪が降る前はそんなこんなでバタバタしていますが、今年の冬は新しいことに挑戦します。それは、除雪です！雪の深い江府町では大型の除雪車が欠かせません。現在は、除雪車を動かすために必要な免許の取得に取り掛かっているところです。来シーズンは除雪の作業を受けられるよう、がんばって腕を磨きたいと思います！



くわはた さいもん
農業振興班 柴畑 才文

いよいよ令和元年もカウントダウン！

まだ 家の雪囲いなどができていないので、少々焦り気味な今日この頃ですが、家の周りでも銀杏やもみじの葉っぱの絨毯がとても美しく、山々の紅葉も素晴らしくて、やはり江府町の秋は最高だなあ〜と改めて感動しています。11月に入ってから、2回ほど柿原地区の竹林整備のお手伝いをさせて頂きました。この季節に整備するのが竹も乾燥していて一番良いと言われていますが、今年はお天気も良く、気温も高めだったので、みんな汗だくになって作業しました。みなさんがとても元気に力強く動かれているので、まだまだ山に慣れていない私からすると本当にスーパーマンのようです。これからもそんな姿を見習って、今年の冬は私も薪割りや雪かきをしながら少しでも体力作りをしていきたいなと思っています！

もうすぐ雪が降り、どんどんと寒さが増していきますが、あったかい黒文字茶を飲んで、風邪などひかないようにご自愛頂き、どうぞ健康で良い年末年始をお迎えください。



観光振興班
いわさき ちえ
岩崎 智恵



▲制作した写真パネルについて発表する様子

日野高レポート
「情熱日野郡」の巻
日野高校3年生による写真展「情熱日野郡」が11月13日（水）から20日（水）まで江府町防災・情報センターで行われました。課題研究の二環として、「日野郡の魅力」をPRするという研究テーマに取り組む生徒が、日野郡内で熱い思いを持って仕事をされている方々取材し、企画した写真を展示しました。
また、11月20日（水）には、ギャラリートークも同センターで開催。中村凜さん、西村実梨さん、森田純平さんが、写真の内容や取り組みについて発表しました。参加者からは「日野郡の魅力を再発見できるとても良い企画だと思います」など感想が述べられました。

令和元年度江府町農業委員会視察研修

■視察研修日 10月28日(月)～30日(水)

■視察研修先 1. 福井県大野市農業委員会
2. 石川県羽咋市農林水産課

■参加農業委員等(敬称略)

奥田隆範、中田 泰、松原憲治、上前梅夫、見山 収、
谷口一郎、宇田川保(計7名)



▲視察研修メンバー

1. 大野市農業委員会

※

農業委員会の仕事の一つである「人・農地プランの実質化」に係る取組みを中心に視察しました。大野市は人口約31,000人、標高約2,000mの越前三ノ峰の麓に広がる大野盆地(標高約200m)があり日本海気候で冬の積雪量は2m近くに及びます。農業経営形態は、水稻を主体に大麦・大豆・蕎麦等が栽培され江府町とよく似ています。

大野市では99件(集落等)の「人・農地プラン」があり、うち67件は実質化済み。残り32プランは「話し合い」を重ね現在も策定中です。農業委員会が加わり数年前から「話し合い」を重ねています。遊休農地の解消や農地中間管理機構を活用した農用地の確保とあっても、この「話し合い」の場で協議・実施されています。

県・市・JAが応援する認定農業者施策、若手農業後継者支援や新規就農者への支援、県外からの就農者支援策により、就農者の確保に取り組んでいます。

また、棚田に巨大な根石が点在する阪谷地区では、国の交付金を有効活用し、農地と農業用施設を協定者と集落民が協力して維持管理している状況を目の当たりにしました。

※「人・農地プラン」とは・・・

地域(集落)での農業者が、地域農業における中心経営体や地域における農業の将来のあり方などを「話し合い」で明確化するもの。「地域での話し合い」を重ね、より現実的な計画を建てることで「実質化」が図れます。

2. 羽咋市農林水産課・6次化推進室

「自然栽培」に特化した農業施策と農産物の6次化推進について視察しました。羽咋市は人口約20,000人、能登半島の西の付根に位置し、山間部には「神子原地区」や「菅池地区」など元気な中山間地があります。農業経営形態は、水稻を主体に大麦・蕎麦等が栽培され江府町とよく似ていますが、特異な点として、農薬・除草剤・肥料を使用しない「自然農法」をJAと共に推し進めています。材料経費の削減が図れる反面、労働力の増加と収量の減少が生じますが、「ブランド化」することで経費に見合う高価格でも買い手が生まれる「好循環」に成功しています。話題性から地元・道の駅に多くの観光客が訪れ販売も好調です。都市部のアンテナショップやふるさと納税者への返礼品にもブランド農産品を入れることで好評でした。

イノシシ肉の食品加工施設では、解体から熟成・調理までの行程が効率的で、衛生的なつくりでした。また、廃棄物も焼却・堆肥化する施設も併設されていました。

中山間地の「神子原地区」、「菅池地区」では、集落の直売施設があり、地元農産物のほか生産者による漬物や乾物をはじめ様々な加工品が販売されていました。

視察研修を終えて・・・

大野市では「人・農地プランの実質化」に向けた農業委員会の関わり方について理解できたことは大変意義がありました。今後、集落での「話し合い」の中で農業者の意見・実態を把握し調整していきます。

羽咋市では農業施策と農産物の6次化推進を学びました。既に本町が推進する“特別栽培米”をより普及推進すること、産物を加工することで消費期間の延長が図れ、価格も高く設定できます。可能な農産物から取り組んで行くことが必要と感じました。



▲「道の駅のと千里浜」の視察の様子

12月の農地相談会

農地に関することはお気軽にご相談ください

◎ 相談日 令和元年12月26日(木)
午後1時30分～3時30分

◎ 場 所 江府町山村開発センター

農業委員会総会 <11月12日(火)開催>

審議案件すべて承認されました。

・農地法第3条の規定による許可申請	1件
・農用地利用集積計画(案)	16件

【問い合わせ】江府町農業委員会事務局 電話：0859-75-6620



『とっとりNOW』124号
好評発売中!



ウイスキー、ワイン、ビール…。地域の素材を生かし、この地にこだわって酒を造る人が続々増えています。巻頭特集でその想いと味に迫りました。一方特集では、病気や障がいと向き合い、2020年の東京パラリンピックを目指す県内のアスリートたちを紹介しています。

▶取扱場所

下記事務局、県内書店ほか

▶定価

1部315円(税込)

▶発行

年4回(3, 6, 9, 12月)

【問い合わせ】

鳥取県広報連絡協議会

電話:0857-26-7086

FAX:0857-29-6621



先生のための金融教育
セミナー(鳥取)

▶開催場所

米子コンベンションセンター

▶開催日

12月21日(土)

午前10時～午後4時55分

▶対象

小学校・中学校・高等学校教員等

▶参加費

無料

【問い合わせ】

金融教育フェスタ事務局

電話:0120-955-972

[ホームページ](#)

<https://www.festa2019.jp/>



軽二輪・二輪小型自動車の
軽自動車税申告窓口開設

令和2年1月6日(月)から、軽二輪・二輪の小型自動車の軽自動車税申告書は、下記窓口に提出していただきますようお願いします。

また、その際は正確な軽自動車税業務を行うため、軽自動車届出済証または自動車検査証のコピーを取らせていただきますので、ご理解とご協力をお願いします。

【軽二輪・二輪の小型自動車の軽自動車税申告窓口】

▶申告対象

・軽二輪(総排気量125ccを超え250cc以下のバイク)

・二輪の小型自動車(総排気量250ccを超えるバイク)

※他県から転入された場合の転出元市区町村への軽自動車税廃車申告は取り扱いいたしません。

▶場所

鳥取市丸山町233番地

11番窓口

鳥取県自動車整備振興会建物内(鳥取運輸支局隣り)

▶受付開始日

令和2年1月6日(月)

【問い合わせ】

江府町役場住民課軽自動車税担当

電話:0859-75-3223



自衛官募集説明会
(鳥取)

自衛官は18歳から32歳まで受験でき、年間を通じて募集しています。お気軽にお越しください。

▶実施日時

毎週月曜日から金曜日(祝祭日除く)

午前9時30分～午後5時45分

土曜日 午前10時～午後5時

【場所・問い合わせ】

自衛隊鳥取募集案内所

電話:0857-26-4019



「お知らせ」「イベント」など暮らしに役立つ情報をお届けします。

江府町役場

☎0859-75-2211(代表)

〒689-4401 江府町大字江尾475



令和2年度
国有林モニター募集



▶任期

令和2年4月1日(水)～令和3年3月31日(水)

▶目的

国有林の事業運営等について、国民の皆さまの理解を深めるとともに、ご意見やご要望をお聞きして国有林野行政に反映させるため。

▶対象

鳥取県内にお住まいで、森林・林業及び国有林に関心のある成人の方。ただし、国会及び地方議会の議員、地方公共団体の長、常勤の国家公務員、平成29年度から令和元年度まで3年間連続して国有林モニターを務められた方は除きます。

▶応募締切

令和2年1月31日(金)

▶詳細

募集の詳細は、近畿中国森林管理局ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

近畿中国森林管理局総務企画部
企画調整課林政推進係

電話:06-6881-3406

[ホームページ](#)

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/kikaku/monitor/index.html>

教育委員会表彰に推薦してください！

推薦締切

令和2年1月10日（金）期限厳守

江府町教育委員会では、平成29年から、毎年芸術文化・スポーツの振興に貢献し、その業績が顕著であると認められる個人または団体を表彰しています。

表彰の対象は、1. 江府町に住所を有する個人または拠点を置く団体、2. 江府町内にある学校に在籍する個人または団体、3. 江府町内にある事業所に在籍する個人または団体、4. 江府町に関係があり、表彰の趣旨に基づき表彰することが相当と認められる個人または団体です。

功績は、平成31年1月から令和元年12月までの間の成績で下記の表の区分により表彰します。表彰を受けるには、他薦、自薦の申請が必要です。江府町教育委員会表彰推薦書（様式第1号）に必要な書類を添付して、江府町教育委員会に提出してください。選考は、町教育委員会で審議し、決定します。推薦書等の様式、規程等は、町のホームページをご覧ください。（教育委員会の窓口にもあります）

【芸術文化部門】

表彰の種類	表彰の基準
(1) 芸術文化大賞	全国規模で行われるコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた個人または団体（団体の一員も含む）
(2) 芸術文化優秀賞	西日本または中国地区規模で行われるコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた個人または団体（団体の一員も含む）
(3) 芸術文化賞	鳥取県内において行われるコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた個人または団体（団体の一員も含む）
備考	対象となるコンクール、展覧会等は、芸術文化における公的な団体または、文部科学省や教育委員会等が主催する大会とする。ただし、教育長が特に必要と認める場合は、この限りではない。

【スポーツ部門】

表彰の種類	表彰の基準
(1) スポーツ大賞	全国規模の競技大会（国民体育大会、日本選手権、全国大学・高校・中学等）において入賞した個人または団体（監督・コーチ含む）
(2) スポーツ優秀賞	西日本または中国地区大会規模の競技大会において3位以内に入賞した個人または団体（監督・コーチ含む）
(3) スポーツ賞	山陰大会または鳥取県大会において3位以内に入賞した個人または団体
備考	対象となる大会は、（公財）日本体育協会もしくはこれに加盟する種目団体または文部科学省、厚生労働省もしくは学校体育団体が主催する大会とする。ただし、教育長が特に必要と認める場合は、この限りではない。

【問い合わせ】 江府町教育委員会事務局教育課 電話：0859-75-2223

小中一貫教育×コミュニティ・スクール説明会実施



▲説明会の様子

令和元年11月に計4回の説明会を行いました。
本町の小中一貫教育については、子どもたちによりよい教育環境を提供することを目的として、新たな学校の形である「義務教育学校」を設置する方針をお伝えしました。
また、令和2年4月からスタートする「地域とともにある学校」（江府町版コミュニティスクール）の具体的な姿も示しました。これにより、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを見守り育てていく体制をより一層推進することとなります。
今後は、小中一貫教育とコミュニティスクールを学校教育の2本柱とし、地域の宝である子どもたちがよりよく育つていけるよう、全町が丸となって前に進んでまいります。町民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

除雪の季節がやってきます！ 除雪作業にご理解とご協力を！

今年も雪の季節が近づいてきました。町では、積雪量がおおむね15 cm 以上観測されたときに除雪車が出動します。みなさんの快適な暮らしを守るため、きめ細かな除雪に努めますが、スムーズな除雪作業を行うためには町民のみなさんのご理解とご協力が必要です。

一人一人が生活や交通のルールとマナーを守り、安全な冬を過ごしましょう。



残雪処理にご協力を！

除雪車が通った後、玄関先などに除雪した雪が残ることがあります。除雪車は限られた時間で広い範囲を除雪しなければなりません。玄関先や車庫前などは各家庭で除雪をお願いします。また、防火水槽等の消防設備やごみ集積場の周りも集落の皆さんで除雪をお願いします。



路上付近の駐車は止めましょう！

路上や歩道に車両が駐車されていると除雪作業ができません。救急車など緊急車両の通行の妨げにもなりますので、路上付近の駐車は絶対にしないでください。



路面状況に応じた運転を！

気象や路面状況に応じた安全運転を心がけてください。特に日陰やカーブ、橋の上、下り坂などは注意し、時間に余裕をもって運転しましょう。



除雪車に近づかないで！

作業中の除雪車に近づくことは大変危険です。運転席から見えないこともあります。絶対に近づかないでください。



【歩行型除雪機は、正しく安全に使いましょう】

近年、自宅周辺等の除雪に歩行型除雪機を利用する人が増えています。機械を使うときには、使用者の責任において、正しく安全に作業しましょう。

- 作業を行う前に取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解しましょう。
- 雪詰まりを取り除くときは必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから雪かき棒を使って作業しましょう。
- 発進するときは、転倒したり挟まれたりしないよう、足元や後方の障害物に十分注意しましょう。
- 作業中は、雪を飛ばす方向に人や車がないことを確認し、除雪機の回りには絶対に人を近づけないようにしましょう。

■吉原御机線（須郷～御机間）は冬季閉鎖します。ご理解ご協力をお願いします。

■除雪業務関係者のみなさんは、いつ降るかもしれない雪に備え、昼夜関係なく過酷な業務に就いています。町民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

冬季の水道管の凍結防止について

ますます、寒さが厳しくなる季節がやってきます。気温が氷点下になると、水道管の凍結による破損により、漏水することがあります。凍結防止として、予防策を実施しましょう。



【予防策】

屋外等にある水道管にタオルを巻き、外気に触れないようにしてください。

【「漏水かな？」と思われたら】

水道メーターが水道を使用していない状態でも回っている場合は漏水の可能性があります。「漏水かな？」と思われたら、江府町役場建設課にお問い合わせください。無料で漏水調査を行います。

【お問い合わせ】

- 除雪（県道を含む）、水道に関すること……江府町役場建設課
- 雪害への備えや相談などに関すること……江府町役場総務課

（電話：0859-75-3306）
（電話：0859-75-2211）

気をつけよう 消費者トラブル

- ・宅配便で荷物が届き、家族が注文したものと思い、代金引換で料金を支払った。後で、家族に聞いたところ、誰も注文していなかった。返品して、払った代金も返してほしい。
- ・電話で「以前、注文を受けた健康食品を代引きで送る」と言われたが、覚えがないので断った。しかし、数日後に商品が代引きで送られてきた。断ったはずなのに・・・。

送りつけ商法

～注文していないのに商品が届いた!?!～



アドバイス

- ・注文していない商品が届いたら、宅配業者に「注文していないので、受け取りません」と伝え、**受け取り拒否**をしましょう。その際、送り主の住所、会社名、電話番号、商品名など記録しておきましょう。
- ・電話がかかってきても、注文した覚えがなく、購入するつもりがなければ、「いりません。もう電話しないでください」ときっぱり断りましょう。
- ・宅配の予定があれば、家族に伝えておきましょう。
- ・書面を受け取ってから8日以内であれば、クーリング・オフができる場合があります。すぐに相談しましょう。

○消費生活相談員による相談窓口

令和2年1月8日(水)、1月29日(水) 午前9時～午後4時

役場本庁舎1階会議室にて開催

(役場正面向かって右側の入り口からお入りください)

○通常の相談窓口

平日：江府町役場住民課（電話：0859-75-3223）

土日：鳥取県消費生活センター

(電話:0859-34-2648) ※祝日、年末年始除く

お気軽に
ご相談ください



今回は、この写真です。道路際の農地で三方をワイヤーメッシュ柵で囲い、道路側を電気柵で防護されています。一見するとしつかりとした対策のようですが、これは「残念な」対策です。なぜか分かりますか？

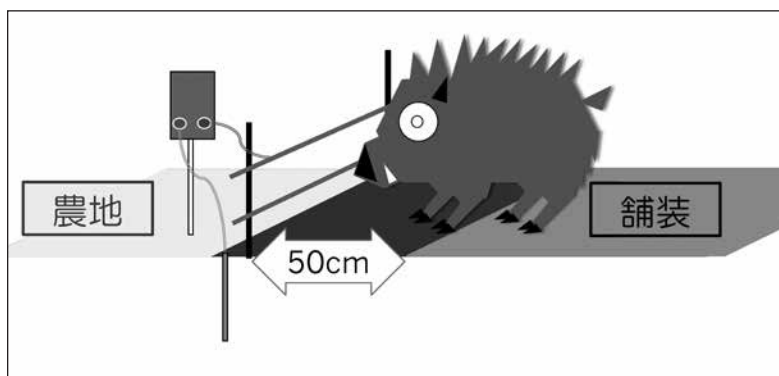
答えは、電気柵を張っている位置が道路に近すぎることです。イ



獣害対策 最前線

第19回 残念な対策①

日野郡鳥獣被害対策協議会
実施隊チーム 木下卓也
【問い合わせ】0859-72-1399



▲効果的な設置のイメージ図

ノシシが舗装面に足をついた状態で電気柵に触れても、ほとんど電気が流れず、電気柵の効果が発揮されません。電気柵と舗装面の間を50cmくらい離して設置してください。この設置ミスは、意外と多くの方がしています。農地を有効に使うのは重要ですが、イノシシに食べられては元も子ありません。少し作付けを減らしてでも、道路から離して電気柵を設置するようにしてください。

年末年始の閉庁・休館・休業について

施設名等	12月27日(金)	12月28日(土)	12月29日(日)	12月30日(月)	12月31日(火)	1月1日(水)	1月2日(木)	1月3日(金)	1月4日(土)	1月5日(日)	1月6日(月)
江府町役場		閉庁 ←								→ 閉庁	
江府町総合健康福祉センター		閉庁 ←								→ 閉庁	
江府町教育委員会		閉庁 ←								→ 閉庁	
子供の国保育園			休園 ←					→ 休園		休園	
江府町防災・情報センター	17:30まで	休館 ←								→ 休館	
江尾診療所		休診 ←								→ 休診	
江府町立図書館	17:30まで	休館 ←								→ 休館	
江府町運動公園		休館 ←								→ 休館	
江府町社会福祉協議会		休業 ←								→ 休業	
ごみ処理施設クリーンセンターくぬぎの森		午前まで ←								→ 閉庁	
リサイクルプラザ		休業 ←								→ 休業	
くみ取り業者 いづはら		休業 ←								→ 休業	
桜の苑						休業	休業				
江府町営バス					運休 ←			→ 運休			
日野交通㈱タクシー江府車庫	休まず営業しております										

※年末年始のごみ収集は、分別収集カレンダーをご覧ください。

※役場では、閉庁日でも戸籍に関する届出（死亡届、婚姻届など）を受領します。

口座振替のお願いについて

現金納付の江府町の税金は全て、口座振替に変更をすることができます。口座振替は納付の手間がなく、納付忘れを防ぐこともできます。ぜひ、口座振替をご利用ください。口座振替の申し込みは、ご本人様が直接、金融機関窓口にてお願いします。口座振替ができる金融機関は、**山陰合同銀行・鳥取西部農協・鳥取銀行・ゆうちょ銀行**です。お早めのお手続きをお願いします。ご不明な点がございましたら、役場住民課にご相談ください。

今月の国民年金

納付期限 12月分 令和2年1月31日(金)まで

平成31年4月から令和2年3月までの国民年金保険料は月額16,410円です。保険料は日本年金機構から送られる納付書により金融機関や郵便局、コンビニで納めることができるほか、口座振替やクレジットカードによる納付なども可能です。保険料は納付期限までに納めましょう。

・国民健康保険税(7期) ・介護保険料(7期)
・町県民税(4期) ・後期高齢者医療保険料(6期)
納付期限及び口座振替は令和元年12月25日(水)

人の動き

11月届(敬称略)

◎ご結婚を祝します

仲田 裕紀 下蚊屋
山本 明香 松江市

◎お誕生おめでとう

(住所) 氏名 (性別) (保護者)
小江尾 土居 星天 男 洋平
美女石 遠藤 怜美 女 真吾

◎ごめい福を祈ります

(住所) 氏名 (年齢) (世帯主)
柿原 清水 昭広 65歳 道代
貝田 森田 培孝 83歳 勝
御机 伊達 武 76歳 正弘

ご寄付

社会福祉協議会に次の方から
ご寄付をいただきました。

(11月分) 敬称略

◎香典返しとして

貝田 岡田 健身 母求死去

■まちの人口 2,859人(-8)
男 1,342人(-5)
女 1,517人(-3)
■世帯数 1,038 世帯(+1)
11月末現在()は前月比

応援ありがとうございます！

ふるさと納税

令和元年 11月30日 現在
延申込件数 559件
(前月比+100件)
延寄付金額 7,485,000円
(前月比+141万円)

防=防災情報センター 開=山村開発センター 福=総合健康福祉センター 役=江府町役場本庁舎 創=高齢者創作館
本5=本町5丁目集会所 セ=せせらぎ公園

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
16 カラオケ同好会 本5 (広域隣保活動) 午前10時～正午 パッチワーク同好会 午前9時～11時30分 防	17 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時	18 大正琴教室 防 午後1時30分～4時30分 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時 書道教室 本5 (広域隣保活動) 午後4時～5時	19 明德学園開校日 陶芸教室 創 午後1時～4時 書道教室 防 午後1時30分～3時 折り紙教室 本5 (広域隣保活動) 午前10時～正午 元気クラブ(2) 本5 (広域隣保活動) 午後2時～3時	20 フラダンス教室 防 午後2時～3時30分 お茶会 本5 (広域隣保活動) 午後2時～4時	21 編物教室 本5 (広域隣保活動) 午前9時30分～正午 和紙折紙教室 防 午後1時30分～3時30分	22 ピアノレッスン 防 午前11時～午後5時
23	24 江府小学校2学期終業式 江府中学校2学期終業式 パッチワーク同好会 午前9時～11時30分 防 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時	25 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時	26 社交ダンス教室 防 午後2時～4時	27 江府町立図書館 17時30分閉館	28	29
30	31 大晦日	飛び入り参加也大歓迎! 服装・格好は自由! 個人でもチームでもぜひご参加ください! 令和2年 第43回 新春マラソン大会 令和2年1月3日(金) 受付開始 午前9時、開会 午前9時30分 受付場所: 江尾駅1階 スタート・ゴール: 江尾駅前 参加締切: 令和元年12月20日(金) 《申込み・問い合わせ》江府町体育協会事務局 電話: 0859-75-2005				



防=防災情報センター 開=山村開発センター 福=総合健康福祉センター 役=江府町役場本庁舎 創=高齢者創作館
本5=本町5丁目集会所 セ=せせらぎ公園

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
	1 元 旦	2	3 新春マラソン大会 開会: 午前9時30分～ (江尾駅前) 詳しくは上枠内をご覧ください 	4	5	
6 江府小学校3学期始業式	7 江府中学校3学期始業式 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時 アイリス合唱団 防 午後7時～9時30分	8 大正琴教室 防 午後1時30分～4時30分 ピアノレッスン 防 午後3時30分～5時 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時	9 社交ダンス教室 防 午後2時～4時 人権・行政相談 午前9時～正午 防災・情報センター	10 いけばな教室 防 午後7時～9時 お茶会 本5 (広域隣保活動) 午後2時～4時	11 編物教室 本5 (広域隣保活動) 午前9時30分～正午	12 成人式式典 開 午前11時～ ピアノレッスン 防 午前11時～午後5時

1月10日は「110番の日」

110番は、みなさんが、事件・事故などに遭われたり、目撃した場合に警察官が一刻も早く現場に駆けつけるための「緊急専用電話」です。警察に対する相談・要望等、緊急でないものは、警察総合相談電話（#9110）または、各警察署、交番、駐在所へ連絡してください。

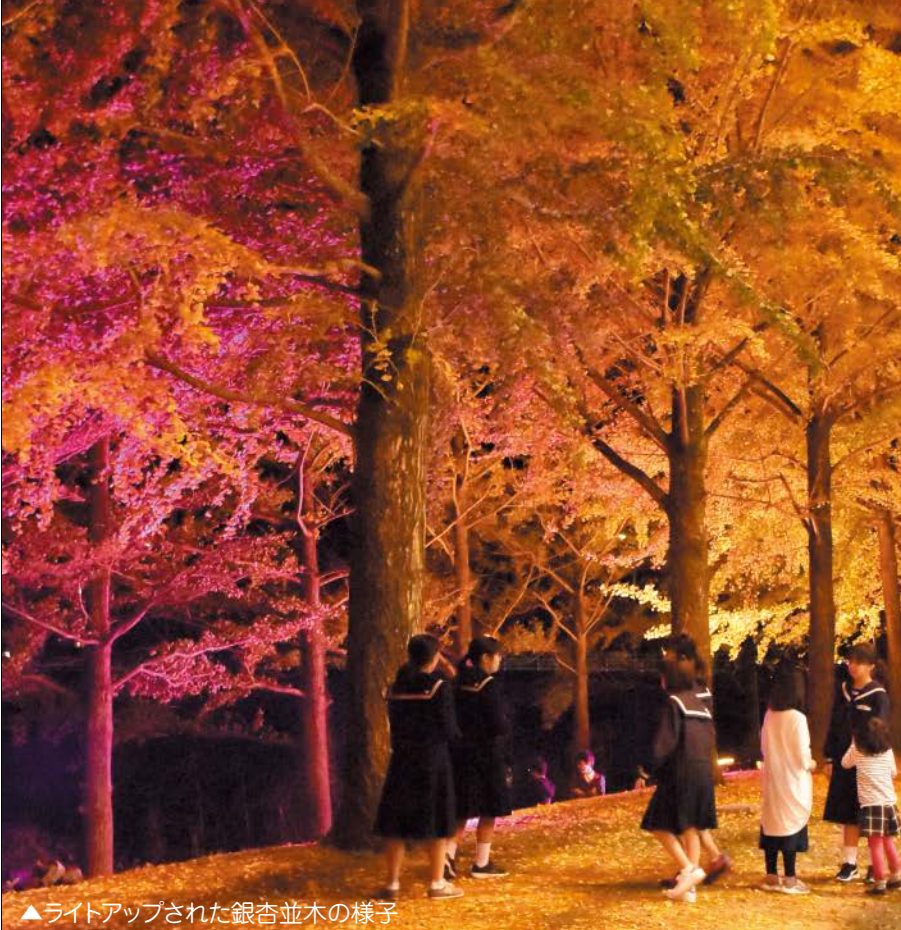
聴覚・言語障がいのある方専用緊急通報システム

- 携帯メールで110番通報
メールアドレス: tottori110pipopa@view.ocn.ne.jp
- ファックスで110番 フリーダイヤル: 0120-857-110
- 110番アプリシステム
このシステムは、耳や言葉が不自由な人が、国内のどこからでもスマートフォンやフューチャーフォンを用い、文字を打ち込んだり、写真を撮って送ることができる通報システムです。携帯サイトから「110番アプリ」をダウンロードして利用できます。

10/31 ~ 11/9

日野川沿い銀杏並木ライトアップ

昨年に引き続き、今年も「日野川沿い銀杏並木ライトアップ」が行われました。一昨年の中学生議会を経て実現した企画で、期間中は野外ライブや屋台出店なども催されました。



▲ライトアップされた銀杏並木の様子

▲天の螢主人公「波留」二代目イメージガール
宇田川莉奈さんによるライブ

11/9・10

御機の茅葺小屋ライトアップ

「御機の茅葺小屋ライトアップ」が11月9日（土）、10日（日）に御機地内で行われました。2日間限定のライトアップイベントには、カメラ片手に県内外からたくさんの方々が訪れていました。普段では見ることができない茅葺小屋ライトアップの美しさは、思わず息を呑むような幻想的風景。訪れた人々を魅了していました。



▲御機の茅葺小屋ライトアップ

今月のフェイス

一球一球に思いをこめて



りょうた
安部 冨太さん
(佐川出身、松江市在住)

江府中学校を卒業後、松江工業高校へ進学。現在は島根大学総合理工学部で建築デザインを専攻しています。大学ではソフトテニス部に所属し、9月に茨城県で開催された国体ソフトテニス競技では鳥取県成年男子代表として出場しました。また、9月に行われた秋季リーグ戦では団体戦で一部2位になりました。来春に行われる春季リーグ戦で優勝し、団体で全日本大学王座決定戦に出場することが目標です。プレーで大切にしていることは「チームに勢いが出るようなプレーをすること」。江府町で良き指導者に出会い、ソフトテニスの基礎を学んだことが、今の自分の原点にあると思います。

COVER 一表紙の写真一



日野川沿いの銀杏並木で写した1枚。モデルは介護老人保健施設あやめ管理栄養士の古川美穂さん（新町1丁目）。古川さんは「江府町は自然が豊かなところが好きで、銀杏並木もその一つです。季節が移りゆく中、日々一日を大切にしていきたいです」と述べられました。

